

令和5年10月3日



担当課	観光課
担当者	谷・松林・杉山
電話	(073)435-1234
内線	3071

和歌山市の加太をロケ地とした映画「ふまじめ通信」の 映画監督 まつむらしんご 氏が市長を表敬訪問

和歌山市の加太をメインロケ地とした映画「ふまじめ通信」が令和5年10月20日（金）より全国順次公開されるにあたり、映画監督のまつむらしんご氏が市長を表敬訪問されます。

- 1 日時 令和5年10月6日（金）午後1時30分から
- 2 場所 和歌山市役所本庁舎4階 市長室
- 3 訪問者 監督 まつむらしんご 氏
制作プロデューサー まえだ かずとし 前田 和紀 氏



まつむらしんご監督について

2013年「ロマンス・ロード」で2013年SKIPシティ国際Dシネマ映画祭長編コンペティション部門SKIPシティアワードを受賞。2017年には「恋とさよならとハワイ」で大阪アジア映画祭JAPAN CUTS Award 並びに上海国際映画祭アジア新人賞部門【脚本賞・撮影賞】を受賞。

その他、HKT48の山本茉央主演の短編映画「夏の夢の恋人」、YeYe「ゆらゆら」や藤田麻衣子「恋ってどうやってするものだっけ?」のMVを手掛けるなど幅広い分野で活躍されています。

映画「ふまじめ通信」について

都会で教師をしていたクニちゃんこと小山田久仁子(28)は、まじめに考えすぎてしまう性格からストレスで心身を病み退職していた。お医者さんから「もっと、うまく、ふまじめに生きなさい」という意味深な格言を思い出し、自身のまじめすぎる性格とは真逆の、『ふまじめ通信』という音声番組をなんとなくはじめてみることに・・・



©ふまじめ通信

風情ある港町を舞台に描かれる、気の置けない友達や町で出会うちょっぴりワケありな人たちの、“ふまじめ”なオムニバスストーリー。

【出演】

宇乃うめの うの 植田紗々 うえだささ 7A、本谷紗己 ななえほんたにさき（市観光発信人）、
そわんわん（市出身YouTuber）

【ロケ地】

加太（加太漁港／加太支所／加太中学校など） など

【本市での上映】

10月27日（金）よりジストシネマ和歌山にて上映開始

参 考

まつむらしんご監督と和歌山市とのつながり 映画「あつい胸さわぎ」

まつむらしんご監督の作品で令和5年1月27日全国上映された映画「あつい胸さわぎ」は、本市がフィルムコミッション事業の一環として支援し、令和3年7月から8月にかけて和歌山市雑賀崎などを中心に撮影、第35回東京国際映画祭のNippon Cinema Now 部門に選出され、若年性乳がんをテーマにした内容が話題を呼びました。

まつむらしんご監督は本市について、「雑賀崎の景色が忘れられない。今回初めて訪れて、なんてすてきな場所だと感じた。自然豊かな海と、家々が傾斜に建ち並ぶ雑賀崎の美しい風景がとても魅力的であった。」とコメントされています。

令和5年10月20日より全国順次公開される映画「ふまじめ通信」は、「あつい胸さわぎ」のロケの候補地でもあった本市の加太がメインロケ地として選ばれました。

映画「あつい胸さわぎ」の概要

【あらすじ】

憧れだった芸術大学に通う千夏（吉田美月喜）。新しい生活に胸を踊らせていた矢先、初期の乳がんが見つかり、胸を残すか失うかの選択を迫られる。幼なじみの光輝（奥平大兼）への恋心と女手ひとつで育ててくれた母親の思いに揺れる青春ストーリー。



【出演】

よしだ みづき ときわたかこ まえだあつこ おくだいらだいけん さとう ひみ
吉田美月喜 常盤貴子 前田敦子 奥平大兼 佐藤緋美
いしはらりい みうらまさき
石原理衣 三浦誠己

【ロケ地】

雑賀崎（雑賀崎漁港／雑賀崎路地／奥和歌大橋など）
和歌浦漁港 美園商店街 など

©2023 映画「あつい胸さわぎ」制作委員会



【本市で作成したロケ地観光マップ】

本市で撮影されたロケ地や周辺観光地情報を掲載したもので、全国の公開劇場や市内観光施設に設置しました。

撮影地としての本市のPRだけでなく、観光地としても魅力を発信するものとして活用しています。